

商店街活性化の方策を探る

沼田市下之町商店街(振)

沼田市下之町商店街振興組合(鈴木務理事長、組合員28人)では、3月26日、石井一級建築士事務所代表石井靖治氏を講師に招き、「商店街は地元の顔です」をテーマに講演会を開催した。



石井靖治氏

石井氏は、商店街の衰退を検証した結果、衰退原因のひとつは「都市計画の欠落」であると指摘し、地方自治体を巻き込んだ将来ビジョン作成の重要性を述べた。ふたつ目の原因は「お店に対する投資不足」であると語った。それは資金的な投資のみならず、お店を綺麗にする労力不足も含み、投資を惜しむと、やる気のない店とお客様に誤解される危険性があると述べた。

また、商店街活性化に必要なものは、「人の交流」による協力体制の構築であると述べ、周辺住民や自治体との連携を強めることが大切で、特に中心市街地の活性化には自治体の協力が不可欠であると呼びかけた。

間伐材チップ工場開所式

あがつま森林育成事業(協)

あがつま森林育成事業協同組合(入江勝郎理事長、組合員7人)では、木質バイオマス発電の燃料となる木質チップ工場を東吾妻町に開設し、4月14日、工場の開所式を行った。開会にあたり、渡茂

専務理事がチップ工場建設の経過報告並びに工場の概要について説明した後、入江理事長が「今まで捨てられていた木材をエネルギーとして再生する使命に誇りを持ち、工場を発展させたい」と挨拶を述べた。

式典終了後、中澤恒喜東吾妻町長を始めとする行政関係者は、原木を破砕機でチップ化するデモンストレーションの見学を行った。



木質チップの生産工程を見学

今後、吾妻郡を中心に間伐材を調達して木質チップを生産し、東吾妻町内の「吾妻木質バイオマス発電所」に供給していく。

オール群馬の地酒「舞風」

発売前夜祭

群馬県酒造(協)

群馬県酒造協同組合(柳澤光雄

理事長、組合員27人)では、4月16日、県庁内生協食堂にて、オール群馬の地酒「舞風」の新作発売前夜祭を開催した。

開催にあたり、柳澤理事長が主催者を代表して、「群馬県産の酒造好適米と県産酵母、17の蔵元の名水と若手杜氏によって作られたオール群馬の舞風は3年目を迎える味・香・喉ごしにさらに磨きがかかった。発売に先立ってグレードアップした新酒を大いに堪能して



柳澤光雄 理事長

頂きたい」と挨拶した。

また、今年は群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部と連携し、地酒サービスのついた「舞風宿泊プラン」が実施されることもPRした。会場では自慢の新作が参加者に振る舞われ、出席者は蔵元ごとの舞風を味わった。